

れんごう中越地協

連合中越地協第67回地協委員会

活動報告と当面の取り組みを確認する

委員会前には「NPO法人地域循環ネットワーク」のミニ講演

連合中越地協第67回地協委員会が、9月25日(火)18時から長岡市勤労会館で開催された。委員会前には市内中学校給食残さ回収を取り組む「NPO法人地域循環ネットワーク」のミニ講演が行われた。

第67回地協委員会(18時30分)から開かれ、電力総連金田代議員を議長に進行した。矢島議長は開催にあたり「連合新潟のローガンに照らして課題を振り返ると、復興再生がどうだったか」という点もある。構成産



第764号2012.10.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含まれる



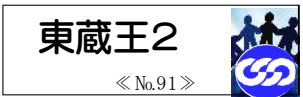
別には被災地に綿を植えるところもあるが、新潟として何を行って来たのか反省したい。組織拡大についても産別を加えた連携対応も考えないと。運動のすそ野を広くするために連合・労働団体が関わりをどうすれば抜けていけるか考える必要がある。一等を挨拶で述べた。

委員会前ミニ講演 人と資源の循環型社会

報告事項では、第66回地協委員会(6月22日)以降の取り組みが報告された。主には、労働組合結成に関わる件、8月に行った反貧困全国キャラバンの取り組み、なおおかつライフサポートセンターと長岡パーソナルサポートセンターの状況、そして各地区で行った平和運動に関わる活動報告を受け全体で承認した。

続いて、審議予定事項が提案された。主には第22回年次総会(11月16日)までの機関会議日程、13年度残さを回収・飼料

10月になり、秋の気配を感じるようになり、残暑が続く、異常ともいえるくらい厳しい環境にありました。それにより、体調面が低下し、この季節に体を壊す方も多くいるのではないのでしょうか。秋といえ、食欲の秋・読書の秋・芸術の秋・行楽の秋など、多くありますが、スポーツの秋といえ、10月10日は、過去に東京オリピックの開催日であり、その日を体育の日にしたようです。以前のコラムで記載したように、私はス



副議長 田野吉昭

ポーツ鑑賞も好きですが、やはり自らプレーする方が好きです。スポーツについては、体力の増進やリフレッシュ効果があると思います。しかし、私が一番感じていることは、スポーツを通してのコミュニケーションの向上に繋がります。その後に懇親会等を開催することによって更に効果が上がるものであると考えます。コミュニケーションの向上は安全・安心な職場環境づくりに繋がる第一歩だと思います。この季節は、体を動かすので、皆さんも体を動かして、その中で多くの方とコミュニケーションを深めてみてはいかがでしょうか？



地協委員会前ミニ講演「給食残さの再利用による人と資源の循環型社会」が18時から行われ、長谷川理事から映像を使って講演を受けた。講演では、NPO法人地域循環ネットワークが取り組んでいる学校の給食残さを回収・飼料

学校・保育園から年間350トンが回収されている。この事業を通じて畜産農家と消費者を結び付けたいという想いが強調された。現在連合中越地協では、昨年6月から毎週火曜日に1名をボランティア体験として派遣している。ぜひ組合員から一度は参加してほしい。

新潟県労働者福祉協会 スキルアップ研修会

新潟県労働者福祉協会「地区労働協働員・LSC事務局長・コーディネータースキルアップ研修会」が、9月27日(木)午後新潟市の勤労福祉会館で開催された。斎藤理事は挨拶で「今年度はライフサポートセンターの5カ年計画最終年にあたり、来年4月から第2次5カ年計画に入る。この事業は求めている人がしっかりと答えることが大事だ」との挨拶があった。

第1部は、青木氏(長野県労働協前専務理事)から『労働協働が動く!地域が変わる「福祉はひとつ」の活動と課題』と題して講演があった。講演では、労働協働と社会の変化や目指す社会の説明が前段に行われた。続いて、長野労働協における暮らしにかかるとして各地区労働協と暮らしサポートセンターで行った事業説明、長野県パーソナルサポート支援事業について述べられた。どれも先進的事業であり、「体制・人・もの・金」の違いが感じられた。



第2部では「新潟県勤労者福祉厚生財団の新事業について」と「新潟県パーソナルサポートセンター事業の現状と課題」について各々事業報告がされた。有意義な研修であった。

連合新潟 組織財政確立検討委員会

第5回連合新潟組織財政確立検討委員会が9月25日(火)午後から開かれた。連合新潟の運動と財政はセットで論議すること、本部が示す地方連合会と地域協議会に求める運動課題の検証作業を第6回委員会に向けて行うこととした。

サラリーマン川柳(物忘れ 増えて夫婦で一人前) (「ねえ起きて」 メールで起こすな 口で言え) (犬の怪我 俺の時より 妻騒ぎ) (腹なでる 三位一体 みな脂肪)

サラリーマン川柳(聞いてから聞き耳もたぬと言う上司)(今週中早い話があと二時間)

連合南魚沼支部だより

9月20日(水)に、秋季ボウリング大会を「サウンドボウル」で開催しました。当日は、10単組38人から参加してもらいました。



7月の大会で、個人戦の後に抽選でパートナーを決めてダブルス戦を1ゲーム行いましたら、非常に盛り上がり好評でしたので今回も同様の大会にして盛り上がる事ができました。

個人戦は、南魚沼市職員組合の関井雅弘さんが、2ゲーム合計391ピンという好成績で7月の大会に続き連覇されました。

今回は、労働金庫六日町支店様の補助をいただき参加賞や賞品を豊富にすることができました。



連合十日町支部だより

8月10日(金)に反貧困全国キャラバンの自治体要請行動を行いました。

十日町市に対する要請では市長と副市長が用務のため都合がつかず、総務部長と福祉課長の対応となりましたが、事務局の帯瀬司法書士から要請に関する説明を行い、市側の



の考えや現状についての意見交換をし、要請書を手渡ししました。また津南町へは山口支部長が出向き、あいにく町長が不在であったため総務課長に趣旨を説明し手渡ししました。



年末までに回答書が事務局に届く予定です。これを機会に各自治体の貧困対策が少しでも前進してくれればと思います。

労働・生活 ひとりで悩んでいませんか? 相談解決の糸口を「一緒」に見つけ出します

ながおかライフサポートセンター

何でも相談 相談は原則 無料 です ※専門的な所を紹介する場合は一部有料の場合があります(裏面詳細)

労働相談

- ・残業代をもらえない
- ・突然、「明日から会社に来なくていい」と言われた
- ・パートには有給休暇はないと言われた
- ・セクハラ、パワハラされた
- ・仕事でケガをした、治療費を自分で払うと言われた
- ・パートでも社会保険に入ってくる?
- ・求人票と労働条件が違う!

生活・家庭相談

- ・パートナーからの暴力が怖い
- ・離婚を考えているけど、どうしよう?
- ・多重債務で家庭が壊れそう
- ・弁護士に相談したいけれど...
- ・住宅ローン、教育ローンの相談をしたい
- ・見覚えの無い携帯電話サイトから請求メールが来た、どうしよう...
- ・子供が引きこもり、家庭内暴力が...

法律・社会・保障相談

- ・仕事が無くて、毎日の生活が大変、生活保護を考えているが...
- ・交通事故で家中がパニックに!
- ・親が亡くなった、相続相談はどこにすれば?
- ・税金や年金についての無料相談はどこ?

その他

- ・パソコンが使えるようになりたい
- ・定年退職後、ボランティアに参加したい
- ・カウンセラーから精神的サポートを受けるには?
- ・創業、起業の相談場所はある?
- ・生きるのがイヤになった、死にたい...

こんな悩みはありませんか?

- 同僚の輪に馴染めない
- 人とコミュニケーションを取るのが苦手
- 自分の「居場所」がない
- 心に悩みがある
- 家族へも相談出来ずに1人で悩んでいる...など

当てはまる方は、第2・第4「木曜日」に参加してみませんか?

★ながおかLSCで開催しています★

心・身体・守るセルフケア

毎月2回、ながおかライフサポートセンターでは「心と身体を守るセルフケア」を開催いたします。毎回、開催日には専門カウンセラーが配置されます。悩みを抱えた者同士、交流していませんか?悩みを抱えた者同士でおしゃべりしたい、カウンセラーに悩みを聞いて欲しい、社会復帰のステップにしたい等...遊びに来てみませんか?

毎月第2・第4木曜日開催 ●参加費 無料

- 場所 長岡市勤労会館 (時間外内であれば同様に来ても同時に帰ってもOKです)
- 11:00~15:00
- 毎回、専門カウンセラーが配置されます

ながおかライフサポートセンター事業Q&A

「Life Support Center」の頭文字を取り、通称「ながおかLSC」です

ひとりで悩まず、気軽にご利用ください

ながおかライフサポートセンターは、労働相談・金融問題・法律問題・老後相談など、様々な「生活」に関わる相談を受け付けています。同センターでは弁護士・金融機関・社会保険労務士・カウンセラーといった資格を有する方々と連携しながら「解決の糸口を見つけ出すサポート」を目的とし、2008年2月1日に開所しました。

Q.「ながおかライフサポートセンター」は誰が運営しているの?

A. 「ライフサポートセンター」は、県内の9カ所に設立されて活動を開始しています。働く者の福祉活動を支えている新潟県労働者福祉協議会(県労協)に寄附される浄財が、各地域のライフサポートセンターに交付されます。県労協には、働く者の福祉を推進する連合新潟、労働金庫、総合生協、高齢者協議会などが参加しています。また、公的資金導入への働きかけ、NPO団体からの運動的支援等「協働の場」となっています。ライフサポートセンターは、垣根のない市民参加が前提の活動です。あなたも交えた【みんなが参加・参画して運営されているセンター】です。

Q.利用は有料? 無料?

A. 解決の糸口を「一緒に見つけ出す」「相談」することについては無料です。事業の経験者や行政の力・アドバイスを借りる場合も、ほとんど無料です。しかしながら、問題の具体的解決に当たり、専門資格を有する弁護士・税理士・社会労務士・各種カウンセラーの業務など無資格者では対応できない事業で、専門家から「訴訟等具体的対応」を行使する場合は、事業ごとに有料となります。その場合、ライフサポートセンターの趣旨に賛同された方々を紹介します。また、秘密厳守ですので、安心して相談ください。

※ながおかライフサポートセンターへの電話料金は相談者様の負担となりますのでご了承ください

Q.どんなシステムで「糸口」は見つかるの?

A. まず、ながおかライフサポートセンターへ電話を掛けることが一歩です。相談内容によって対応は様々。一緒に解決の「糸口」を見つけましょう。

【主な連携先】

- 連合
- ろっさん
- 総合生協
- 弁護士事務所
- 社会保険労務士
- 司法書士
- 行政機関
- 各種NPO団体

【アクセス・ご注意】

基本的には「事前電話」でアポイントを取られてからの来局をお願いします。突然来局された場合ですと、外出や交渉活動の為に空足となりますのでご注意ください。

ながおかLSC (0258) 24-0535

- ◎住所 長岡市東蔵王2-2-68 勤労会館2階
- ◎開所日 毎週月曜日~金曜日 (土日・祝日は休み)
- ◎時間 9:00~16:30

【地図】

北長岡駅 JR 長岡駅 JR

セモノールビル 勤労会館 2階

ライフサポートセンター (長岡市勤労会館2階)

ここから入ってください ※地下鉄駅までの案内